

# 京都府産農林水産物・加工品の輸出促進について

【担当省庁】農林水産省

コロナ禍や国際情勢による影響が懸念される中であっても、農林水産物・加工品の輸出に向けた機運を萎ませることなく加速化するため、以下の措置を講じていただきたい。

## ○農林水産物・加工品の輸出促進に必要な支援等の一層の充実

- ・GFPグローバル産地づくり推進事業の事業採択件数の拡大
- ・関係者の連携による輸出体制（加工食品クラスター）の構築促進のため、地域内の業界ニーズの掘り起こし・分析・調整を行う専門人材の設置への支援
- ・地域の歴史や文化などと食品・食材をセットにした輸出プロモーションの展開

## ○農林水産物の輸出障壁解消に向けた輸出先国・地域への働きかけの強化

- ・日本茶や野菜の中国向け輸出再開に必要な放射性物質検査証明書等に係る日中政府間合意の早期実現
- ・欧米・台湾等での残留農薬基準の拡充

## ○輸送コストの削減につながる長期鮮度保持や混載輸送技術の開発支援・普及促進

### 【現状・課題等】

#### ■輸出産地の体制整備

- ▶ 「GFPグローバル産地づくり推進事業」を活用し、ターゲット国の残留農薬基準に対応した栽培技術の確立や地域の原材料にこだわった日本酒づくりを展開。新たなターゲット国の開拓に向け、新品目の輸出向け栽培技術の確立を進める計画
- ▶ 国は、地域の加工食品の輸出を促進するため、加工食品クラスターの形成を進めているが、より効果的に事業を推進するためには、地域内の業界ニーズの掘り起こしや分析などのコーディネート機能を強化することが肝要であり、専門人材の設置が必要

#### ■輸出向けプロモーションの展開

- ▶ JFOOD0において、重点品目ごとにプロモーションが展開されているが、訪日経験のない海外の方に対して、地域の文化的背景と食品・食材をセットにしてPRすることが効果的

#### ■輸出障壁

- ▶ 放射性物質検査証明書等に係る日中政府間の合意が形成されていない中国本土は、有望なマーケットであるにも関わらず、宇治茶や京野菜の輸出が不可能
- ▶ 欧米・台湾等において、京野菜は高い評価を得ているにも関わらず、残留農薬基準の違いにより、本格的な輸出に至っていない状況

#### ■輸送コストの高騰

- ▶ 燃油価格の上昇や需給バランスの乱れを背景に海外輸送にかかるコストは高騰

京都府 の担当課	農林水産部 流通・ブランド戦略課(075-414-4941) 農産課(075-414-4944)
-------------	---

**【国の事業等】**

■GFPグローバル産地づくり推進事業〔農林水産省〕 26.5億円

輸出産地による輸出事業計画の策定・実行支援、輸出産地サポーターの活動強化、輸出診断の実施、地域輸出商社等の育成、加工食品の輸出強化、輸出関連信用保証支援、品目等の課題に応じた取組を展開

■加工食品輸出産地確立緊急対策〔農林水産省〕 9.8億円

地域の特色ある加工食品を輸出するため、新商品・サービス開発、GI取得等のブランド構築、輸出先国の規制・ニーズに適合した商品開発・改良に必要な機械の改良・開発等を支援

■戦略的輸出拡大サポート事業〔農林水産省〕 12.9億円の内数

JFOOD0による、品目団体等と連携した戦略的プロモーション、海外富裕層をターゲットにした新たなマーケット開拓の取組を支援

■輸出環境整備推進事業〔農林水産省〕 26.2億円

輸出先国の規制の緩和・撤廃に向けた協議の加速化や、輸出先国が求める食品安全規制に対応するための事業者の取組を支援

**【京都府の取組】**

■京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会

京都府産農林水産物・加工品の輸出を促進するため、輸出に取り組む意欲・関心のある団体・企業等が参画し組織

現地調査や参画事業者への情報提供等を実施

品目	主な輸出相手国
宇治茶	北米、EU、香港、シンガポール
アルコール飲料（日本酒）	中国、EU、香港、北米
京野菜	香港、シンガポール、台湾
牛肉（Kyoto Beef雅）	北米、EU、香港、シンガポール

■京都食ビジネスプラットフォーム

食に関わる多様な業種の事業者が参画し、新型コロナウイルス感染症等の影響による消費行動の変化を捉えた、付加価値の高い新たな商品やサービスを創出  
輸出部会を設置し、輸出に関心を持つ事業者間の調整・マッチング等を実施予定

■京もの輸出拡大戦略推進事業 63.7百万円

①「京都」の優位性を生かした、宇治茶、日本酒、加工品も含めた京もの一体での販売対策、②輸出障壁が異なる国別・品目別のきめ細やかな輸出向け産地対策、③輸出を志す個別事業者への伴走支援等を実施